

第1回三島市新規最終処分場候補地選定委員会の会議録

1. 日時

平成31年2月1日（金） 午後2時00分から午後4時20分まで

2. 場所

三島市役所本館2階 第2会議室

3. 出席者

【委員】：内田委員、大村委員、尾友委員、土居委員、濱田委員、山下委員、
渡邊委員

※五十音順 委員7名中7名が出席であるため、委員会成立

【事務局】：植松環境市民部長

廃棄物対策課：佐野課長、勝又副参事、松下課長補佐、仲田副主任

4. 会議の公開・非公開の別

公開

5. 傍聴人

0名

6. 開会

事務局：開会宣言。

7. 委嘱状交付

全委員に対し、市長から委嘱状を交付した。

8. 市長挨拶

本日は、大変お忙しい中、委員の皆様には、ご出席いただきまして心よりお礼申し上げます。

第1回三島市新規最終処分場候補地選定委員会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、先ほど委嘱状をお渡しさせていただきました。委員としてのご就任に、ご快諾を賜りまして誠にありがとうございます。心から感謝を申し上げます。

また、本委員会の座長と副座長につきましては、要綱に基づきまして、市長が指名することになっているので、ここで指名させていただきます。

最終処分場の候補地の選定、建設につきましては、専門的な見地からの取りまとめが必要となるため、座長につきましては、環境科学、廃棄物処理の専門家であります、長野県短期大学、土居洋一(どい よういち)先生にお願いをしたいと思います。

また、副座長につきましては、元横浜市役所、資源環境局の部長で、現在は公益社団法人、全国都市清掃会議の技術部長であります、濱田雅巳(はまだ まさみ)様をお願いしたいと思いますので、皆様にもご理解を賜れば幸いです。

さて、本市の一般廃棄物最終処分場の現状についてですが、既に、第1埋立地、第2埋立地につきましては、埋立てが終了しているため、現在は第3埋立地に埋立てをしているところでございます。

この第3埋立地につきましては、平成8年度より埋立てを開始し、22年が経過したわけですが、この間、延命化のために、平成22年度より、埋立て焼却灰の一部を、外部搬出しているところでございます。

平成29年度末現在で埋立て残容量は、約8,200立方メートルとなっており、今後、毎年、発生する埋立て量から残余年数を推測しますと、外部搬出を継続した場合で、約13年で満杯、また、全量を埋立てした場合では、約3年で満杯となる見込となっており、第3埋立地は非常にひっ迫している状況でございます。

このような中、社会経済情勢などにより、外部搬出先での受入れができなくなった場合や、大規模災害時においても、安定した一般廃棄物の処理が不可欠であり、不測の事態においても、市民生活に影響が及ぶことがないよう、事前に対策を構築しておくことが自治体としての責務であると認識しております。

一般廃棄物処理施設は、市民生活にとって重要なライフラインの1つであり、将来にわたり安定した埋立て処理を実施し、本市が持続的に発展していくためにも、新たな最終処分場の建設は、喫緊の課題であると考えております。

今後、委員の皆様には、新たな最終処分場の候補地の選定について、各候補地の評価をしていただく予定となっておりますが、その際には、どうか、それぞれのお立場から活発なご意見・ご提言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、委員の皆様には、これからの委員会の円滑な推進にご尽力賜りますことを重ねてお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

9. 座長挨拶

土居でございます。長野県短期大学の環境関係のことを教えております。略歴にもございますけれども、処分場、それとその設計施工、あるいは処分場に埋め立てます、ごみ、産廃の処分場をメインにしておりますけれども、そのような環境省系の仕事をしております。ということで処分場に対しまして若干の知識があるということでこの大任をお引き受けすることとしたということになります。どうぞよろしくお願いいたします。

10. 副座長挨拶

全国都市清掃会議の浜田でございます。市長のご挨拶にもありましたが、私は横浜市におりましたけれども、最終処分場はやっぱり必要不可欠な施設と考えておりました、廃棄物の適正処理に必要な不可欠なものと考えております。土居先生の補佐をしながらです、この委員会で適切かつ迅速な協議ができればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

11. 諮問

市長から土居座長に諮問書の交付

諮問事項：三島市新規最終処分場候補地選定について

12. 委員の自己紹介

座長・副座長を除いた5人の委員が自己紹介を行った。

13. 事務局職員の紹介

本日出席している職員の自己紹介を行った。

14. 議題

(1) 今回に至るまでの経緯について

<事務局説明>

今回に至るまでの経緯を【資料2】を用いて 三島市一般廃棄物最終処分場の現状・最終処分量及び第3埋立地残容量の推移を説明し、【資料3】を用いて三島市新規最終処分場候補地選定の経緯を説明。

<質疑応答>

委員：2か所に絞られたというのは分かるが、現地は後程見るとしても、どれにしますかって言われたって、資料が足りないよね。我々は何にもわからない、あなた方はわかっているんだろうけど。我々は何にも知識がないわけ。例えば道路が狭くて拡幅しなくちゃいけませんとか、環境に問題がありますとか、容量はアバウトな数字が載っているけど、実際やるとするとどれくらいするか。こっちは広いけど、総工費は安くなりますとか、そういうようなことを、2つの候補地の比較をしていただいて、皆さんいかなものでしょうか、っていうなら、ああ、こっちはいいだろうってわかるが、まったくわからない。荒っぽすぎる提案じゃないか。

事務局：前後して申し訳ありませんが、後程、これまでの経緯および概略スケジュール等をご説明させていただく予定なんですけども、本格的には第2

回、一応本年の4月になると思いますが、委託をしている日本工営の方とですね、周辺環境状況や自然環境の条件、あるいは概算の建設費などを第2回でお示しさせていただきまして、その際に具体的な意見を頂ければと考えております。

座長：次の議題に入ってしまいますが、資料4のスケジュールのほうに、候補地選定に係る基本方針、あるいは立地条件の提示、これが今お話しいただいた内容でご提示されるということだと思いますので、今日のところは今回の新候補地選定委員会をどうやって進めていくか、それからどういってお話か、というお話だと思いますので、次回にそれが出るということによろしいでしょうか。

委員：現地の確認というのは、今日、見に行くわけじゃないでしょ。

事務局：今日、行きます。

(2) 委員会のスケジュールについて

<事務局説明>

委員会のスケジュールについて【資料4】を用いて三島市新規最終処分場候補地選定委員会スケジュールを説明。

<質疑応答>

委員：第二回が4月の下旬というお話だったが、4月の下旬というのは非常に立て込んでいる。早くしないと埋まってしまう。ご検討していただき、なるべく早めに日程は決めていただきたい。特に20日以降は早くしないと埋まってしまう。

事務局：後程と思っていたが、4月23日の火曜を予定しております。時間についてはまた改めて具体的にお知らせしますが、おそらく13時半か14時ごろを予定しております。2回目の場所につきましては、清掃センターの会議室でやろうと考えています。

座長：今事務局から、お知らせがありましたが、ご都合はいかがでしょうか。ご都合がつかないという方がいらっしゃれば挙手をお願いしたいのですが。

委員：(了解)

座長：委員全員が4月23日候補ということでご了解いただきました。

委員：2週間前というのはかなり厳しいので、事前に次回の委員会の日程を予定していますというほうが良い。

座長：そうですね、できれば今回のように今日2月1日に次の4月23日を決められるように、4月23日には、次回どのくらいでできるかは難しいんですが、たぶん2回目の時は、揉めるとは申しませんが、かなり時間が

かかると思うので、余裕を見て、6月に予定していただいていた方がいいんだけど、そのあと7月にやらなければいけないとか含み置きをもって、計画を立てていただくのがよろしいのではないかと。ですから、今回は4月23日に決まりましたので、次の6月に関しては事前に事務局の方でご検討していただいて、提案していただくという方が確実かもしれません。よろしいですか、皆さん、そんな進め方で。

委員：2か月くらい前にターゲットを決めていただいて。1か月くらい前には言っていたかかないと。2週間前だと無理だと思う。予定日なので決められるなら決めていただいて構わない。

事務局：わかりました。今回と同じように、第2回時には第3回の予定日をお示ししたいと思います。

委員：第2回の資料も何も見てないし、評価項目が何かも見ていないので何とも言えないが、そこで意見がいっぱい出るとですね、次までの6月っていうのも微妙かもしれないし、もう2回で終わるかどうかわからないんですよね。ですから、お任せしますが、次回はすごく山場だと思いますので、皆さんご意見をお持ちなので、ちょっと心配するのは、評価項目が充足していればよいのですが、これもこれもということになると、そこから調べるということになりますよね。そうすると時間が足りないということになる。資料の出来不出来といいますか中身ですね、説得力のある資料かどうかで決まると思いますので、そこはちょっと話された方がいいかと思います。あまりこのスケジュールでフィックスというのは難しいかもしれないので、2回やれば委員から意見が出ますので、出た意見に沿ってやればいいと思います。

事務局：資料は前倒しで出来ましたらお送りします。

委員：送られたものに対して意見を言うということになるのですか？会議の中で宿題が出てしまうとスケジュールに影響が出てしまうかと。

座長：資料は事前配布の、意見も事前に出すようにするのか。そこが難しいところですが。ただ、今のご意見の感じを見ると、かなり出てきそうですね。事前の意見ももう一回流さないといけないですね。ですから、意見はその場でいただくにしても、この4回でフィックスで、もうやらないよというのは危険すぎるように感じます。

事務局：一応、4回となっていますが、冒頭、委員の皆さんの任期は、平成で言いますと平成32年の3月までにしてありますので、4回でまとまらなかったことも想定して任期を伸ばしてあります。

委員：できれば幅広い項目を出していただけると、足りないという議論にならないのではないかと思います。あまり絞り込むと、あれも知りたいこれも知りたいとなってしまいますので。書けない項目もいっぱいあると思いま

すので。

座長：諮問に関してはいつまでというのはなくて、任期の期間内にということであれば、3月まででよろしいのかなと思います。

もう一つ、先ほどもお話のあった状況とか工費や環境などに関してですが、やはり水のきれいな街を守りたいというのがやっぱり市民の皆様のお考えがあって、そこを考えると、どこまで広げたらいいのかというのがご意見あると思います。もし、1つずつくらい、こんなことやってもらいたいというのがあれば、この場で言うていただければ、次回やるということになるのかと。先ほどありました、なぜそこに絞り込んだのか、地域の概況や工期や工費は基本だとは思いますが、何かありますか？

委員：大体の大まかな工期や金額はでているのですか？

事務局：そこは今やっているところです。

委員：候補地の地権者の方たちは知っているんですか。

事務局：今年になりまして委託の中で立ち入りのお願いをしていますので、地権者の方はそれなりに知っていると思います。

(3) 新規最終処分場整備に関する概略スケジュールについて

<事務局説明>

新規最終処分場整備に関する概略スケジュールについて【資料5】を用いて説明。

<質疑応答>

(意見等なし)

座長：これはスケジュールということで、この委員会の立ち位置がどこにあるかということをご理解していただければよいかと思います。

15. 候補地2ヶ所の現地確認

事務局より航空写真を使って2か所の候補地の概略の説明を行った。

16. 閉会

事務局：本日の議題に対するご意見や改めてお気づきの点等があった場合は、「意見等連絡票」に記入し、2月8日(金)までに事務局へFAXまたは電子メール等にて送付いただきたい。又、次回の開催は4月23日(火)の午後で、会場は、清掃センターを予定していますが、詳細については、開催日の2週間前を目安に通知させていただきます。